

日南町農業再生協議会（鳥取県日南町）

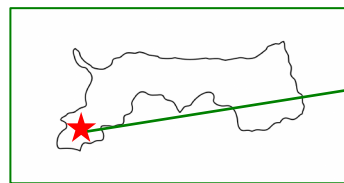
R5補正
R6当初

57

背景・課題

日南町では、地域住民の高齢化により自作農家の減少が著しい反面、農業法人等への作業委託・農地集積により、何とか農地、農業が守られている状況である。農業所得の減少、燃料費や肥料等の高騰などもあいまって、農業・農村を取り巻く環境は依然厳しい状況であり、高騰を続ける化学肥料に代わる肥料として、町内産の堆肥を活用した地域圏域での経済循環を進め、持続可能な農業・農村、地域づくりに取り組んでいる。

高付加価値化による農業所得向上を図るための一つの方法として、有機の産地づくりを進めていきたいが、地域にあった栽培技術が確立していない、指導者がいないことが課題である。



日南町

構 成 員

にちなんオーガニックビレッジ

推進プロジェクト構成員

〔日南町、農事組合法人、個人農家、
学識経験者、商社、金融機関 等〕

品 目

水稻、野菜

成果目標

○有機農業の取組面積の拡大（水稻）	R4年度 0ha → R10年度 10ha
○有機農産物の販売数量の拡大（米）	R4年度 0t → R10年度 20t
○有機農業に取り組む農業者数の増加（有機JAS）	R4年度 0人 → R10年度 5人

主な取組内容

- 野菜の根張りをよくするための土づくり勉強会を開催
- 家庭菜園向けのセミナー実施
- 化学農薬を使わず、人手をかけない除草方法の検証
- 微生物資材(納豆菌・酵母菌)の有用性検証
- 大規模イベントでの有機農産物販売
- 加工業者との協議
- 消費拡大に向けた映画の上映
- 町内小中学校給食へ有機農産物の提供(ワンデーオーガニック給食)

土づくり勉強会



化学肥料に代わる微生物肥料の使い方・培養方法の勉強会と実際に培養するワークショップを同時開催した。
(納豆菌・酵母菌)

EXPOへ出店



無農薬で生産した有機農産物の販売を実施。オーガニック関連団体の出店、商談・情報交換有り。

太陽熱養生処理および微生物資材の比較検証



畝内の雑草・病原菌の駆除、土づくりを目的に、納豆菌・酵母菌を活用した太陽熱養生処理を実施。
同じほ場にて、マルチを張った場所（有機栽培）とマルチを張っていない場所（慣行栽培）の比較検証を行う。

普及に向けた取組

日南町内では、有機栽培は慣行栽培に比べ手間はかかるができた作物は高く売れないというイメージが強いことから、手間をかけずに肥料にかかる費用を抑えることができる栽培技術を確立し、稼げる農業を目指す必要がある。今回実証を行っている結果を整理し、前述したイメージを打破していくことで地域への普及を進めるため、引き続き有用な栽培方法や化学肥料に代わる資材がないか模索し、この地域にあった栽培方法を確立していく。

問い合わせ先

日南町役場 農林課
【住 所】 鳥取県日野郡日南町霞800番地
【電 話】 0859-82-1114